

全員協議会日誌

こんなことを協議しました

7/14 第4回全員協議会

今年度に購入を予定していた消防ポンプ車と積載車の補助金の内示がされない見通しとなりました。これは国の方針によるもので、今後予定どおり購入すると町費の大幅な持ち出しが必要となることから、どのような対応が可能か検討することになりました。議員からはポンプ車だけでも検討するべきとの意見も出されています。

消防車購入補助金の内示なし

西山環状線（小手沢）道路改修

西山環状線道路改修工事は、随時今年度より進められることになりました。

延長は100m・復員は7mで18年度までの3ヶ年事業として進められますが、詳細設計の後、地元説明会等を経て発注は来年6月頃の予定です。地形上の問題から課題もありますが、懸案事業が一步前進することになります。

教育長公募による人選について

9/17 第6回全員協議会

議会改革検討委員会では、これまで検討してきた内容について議員に説明をしました。改革の課題と協議してきた内容、またその考え方などについて議員一人ひとりとから建設的な意見が出されました。委員会としては更に全員協議会等で議論を重ねながら実行にむけて取り組んでいくことを確認しました。

議会改革検討委員会の報告

町長の公約として進めてきた教育長の公募状況について、説明を受け、議員からは選考にあたっての基準・考え方等について町長の考え方を聞きました。教育長の公募は長野県内では初めてであり、現在、混沌としている社会状況から「教育改革」は大きなテーマです。教育委員（教育長）の人事案件は議会での同意が必要のため、その人選をどう判断するか白熱した意見が出されました。

行政視察報告

日時 平成16年7月20日～21日

行き先 埼玉県志木市

千葉県八千代市

目的 自立計画・ごみ溶融施設の実態



志木市での意見交換

志木市の「地方自立計画」と、八千代市における「ごみ溶融施設」の状況を全議員で視察しました。

◇徹底した市民参加による町づくりは学ぶところが多く、市長・議会・市民らがそれぞれの立場で積極的に取り組んでいました。特に市民が創る第二の市役所「市民委員会」や市民が「行政サービス」を請負う「行政パートナー」は、自治体としてあるべき姿だと感じました。また、住民との協働の基本は、分かりやすく徹底した情報発信であり、参考となるものでした。

◇ごみ溶融施設建設に要する費用、維持費を考えると溶融化施設を建設する事の重大さを改めて痛感しました。住民に対しての安全性、今後増えつつける廃棄物の処理対策、また処理場の延命対策など、今後更なる減量対策を実行していく必要性を認識しました。